おおおです ああああああ あああああ	黄垂直 Hxy あああああある 5ああああああああああ か き こ れ は	水平 Hx _J	
. こ れ は	こ れ は	お お横	Hxy i 水平 Hxy か き
	意味	おおおおこれは	かき
の な い	の な い	れは	これは
サンプ	ッンプル	意味の	
-意味のないサンプルテキスト縦水平 Hxy	意味のないサンプルテキストです	意味のないサンプルテキストです	意味のないサンプルテキストです
- ス ト 縦	ハト で す	シプル	ソンプ
水平	。 あ あ	ルテキュ	アナフ
	あ 縦 あ 垂 あ 直	ヘトです	ヘトです
お	ああああああああああああああ 縦垂直 Hxy ああああ		•
	あああ ああま		
	Hxy ああああああああ		
	0)		

ドを入力として処理することで DVI や PDF などの表示形式を出 力として得ることが挙げられる。 LATEX の特徴として、テキストファイルであるソースコー

の出版物などでは、LATEX 形式での投稿が標準的なフォーマッ DP: 1.94444pt ド)が用意されているので、単純なソースコードで高品質な数式WD: 16.94449pt, トとされていることも多い。 表示を得られる。そのため、数式を多く含む自然科学系や工学系HT: 10.0pt, でも数式組版の品質が高い。さらに、数式専用の命令文(コマン 作成にも充分に耐えられるものであり、 高い組版処理能力である。組版処理能力は一般向けの出版物の LATEX の最大の長所は、TEX に由来する高品質で自由度 実際の出版例もある。中

HT: 50.0pt,

WD: 8.77776pt,

DP: 50.0pt

文書構造(章・節・段落や強調箇所など)と文書スタイルの設定 書のスタイル(表示形式、見栄え、たとえばレイアウトやフォン トなど)を自在に調節できる。また、ソースコード上で文書内容・ くわえて、ソースコードに詳細な設定を記述することで、文

WD: 11.94444pt,

との分離が可能である。そのため、 タイをル保つことができる。また、同じ文書内容でレイアウトや HT: 6.83331pt, 同一文書内で終始一貫したスWD: 16.94449pt, WD: 8.77776pt,

投稿では、学術雑誌のスタイルを記述したファイル(パッケージ 容の記述に専念することができるという利点もある。論文などの 用性が高い。一度スタイル設定を決めてしまえば、あとは文書内

と雑誌の編集者とのやり取りを簡略化できる。Kile、TeXShop されたスタイルで論文 x を投稿することができ、論文の投稿者 ファイル)を Web からダウンロードして利用することで、統一

りてふ)、M's TeX Helper 2 など の TeX 用テキストエディタマ TeXworks、EasyTeX、WinShell などの T_EX 用エディタや、野鳥 (やてふ、YaTeX)、TeXlipse、KaTeX(花鳥、 かてふ)、祝鳥(の

TEX 形式で出力することも可能である

なる。 また Maple や Mathematica などでドキュメントを作成し、 クロを兼用することによって、より効率的な文章作成が可能とも

A 縦ボックス で 寸法

HT: 16.94449pt, HT: 16.94449pt, DP: 0.0pt DP: 0.0pt DP: 8.47224pt HT: 8.47224pt WD: 8.77776pt,

WD: 100.0pt, WD: 16.94449pt, HT: 6.83331pt, HT: 6.83331pt, DP: 1.94444pt

DP: 1.94444pt 横ボックス|Htp|寸法 dimexpr でも使えるかな? 201.0pt

A あいうえお BABC 横水平CXYZ	Aabc B かき くけこ Cxyz	横水平	
縦 水平 内 XYZ の え お の え お る る る る る る る る る る る る る る る る る る			
丙 xyz 下 abc けこ			

横垂直

A あいうえおBABC CXYZ

Aabc B かきくけこCxyz |

縦 垂 直

甲あいうえお乙 ABC 乙かきくけこ丙 xyz |

丙 XYZ

- A> 0 hlist 2 (3.41666+0.0)x29.4445, dir=0
- A> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list)
- A> .D hlist 2 (3.41666+0.0)x29.4445, dir=3
- A> ..0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list)
- A> ...D hlist 0 (29.4445+100.0)x3.41666, dir=-4
- A> ..D glyph 256 A 1 (6.83331+0.0)x7.50002
- A> ..D glyph 256 B 1 (6.83331+0.0)x7.08336
- A> ..D glyph 256 C 1 (6.83331+0.0)x7.22223
- A> ..D glyph 256 D 1 (6.83331+0.0)x7.6389
- B> D hlist 2 (3.41666+0.0)x29.4445, dir=3
- B> .0 whatsit 44 userid:4 (direction) (node list)
- B> ..D hlist 0 (29.4445+100.0)x3.41666, dir=-4
- B> .D glyph 256 A 1 (6.83331+0.0)x7.50002
- B> .D glyph 256 B 1 (6.83331+0.0)x7.08336
- B> .D glyph 256 C 1 (6.83331+0.0)x7.22223
- B> .D glyph 256 D 1 (6.83331+0.0)x7.6389 $100.0 \mathrm{pt}$